

令和3年度 都城市文化賞

都城市文化賞は、本市の文化の向上発展に関し、特に顕著な業績・功勞のあった個人・団体、または、国内・国外での活動が国内外で高い評価を得た個人・団体に対し、都城市文化賞条例に基づき贈呈するもので、①学術部門、②芸術部門、③技術部門、④社会教育部門、⑤体育部門、⑥文化功勞部門の6つの部門で選考。

合併以降、今年が16回目。これまでに学術部門1人、芸術部門4人、社会教育部門1人、体育部門2人、文化功勞部門9人と1団体の計17人と1団体が受賞しています。

なお、旧都城市においては、昭和44年の制定以降、学術部門5人、芸術部門13人、文化功勞部門43人と5団体、体育部門8人と1団体、社会教育部門19人と1団体の計88人と7団体を選定しています。

【受賞者と功績の紹介】

●芸術部門 又木 啓子（またき けいこ）氏（都城市出身/スペイン在住/69歳）

昭和58年に都城市立美術館で個展を開催されて以来、日本とスペインの各地で個展を開き、国内外で活躍。平成12年には、関之尾滝と霧島をモチーフとした「都城のふるさと切手」のイラストデザインを作成し、「都城」を全国に発信。

都城市の北泉橋のデザインやスペインのクエンカ市にあるプリンシペ公園内の「太陽広場」のデザイン制作・監修に携わっており、作品を通じて市民が日常生活の中で美術作品に触れ、芸術的な感性を磨く機会を提供している。

また、みやこんじょ大使、スペインのクエンカ親善大使を務め、お互いの文化を紹介し文化交流の向上にも貢献。

【文化賞贈呈式】

日時：令和3年11月2日（火）11時00分～

場所：都城市役所4階 秘書広報課前会議室

※受賞者への取材は、式終了後、記者クラブ室にて時間を設けます

【問い合わせ】 コミュニティ文化課 電話 23-2132（直通）

受賞者の略歴

（学歴）

昭和51年 女子美術大学芸術学部洋画科卒業
昭和56年 スペイン王立サンフェルナンド美術大学絵画・油絵科卒業
昭和57年 スペイン国立応用美術学校石版画科・銅版画科修了
〃 スペイン国立陶芸学校修了

（主な制作・仕事）

平成11年 「北泉橋」デザイン・制作（都城）
平成12年 都城ふるさと切手デザイン（関之尾滝・霧島）（日本郵政省）
平成18年 都城市名誉市民章メダルデザイン（都城）
〃 「太陽広場」デザイン・制作（クエンカ プリンシペ公園内）
平成23年 神柱宮 祖霊殿 ロビー空間作品（都城）
平成28年 皇子原公園 TOGAR I A 星広場オブジェ制作（高原町）
令和2年 スペイン国福祉省の依頼で「女性虐待反対キャンペーン」の
壁画制作（クエンカ フェンテ・デ・ペドロ・ナアロ）